

C13 基礎から考えるドメイン名 ライフサイクルマネジメント

Internetweek SHOWCASE IN 福岡

長崎県立大学/dnsops.jp

岡田 雅之

何を話すの？

- このセッションでは、「ドメイン名」の維持管理の問題をお話しします。
- ドメイン名はIPアドレスと合わせてインターネットを支える重要な資源
- ドメイン名はインターネット上の場所を表す文字列
 - その文字列がブランドや企業・組織のプレゼンスを表すようになってきた
 - ドメイン名の文字列を適切に維持する必要があります

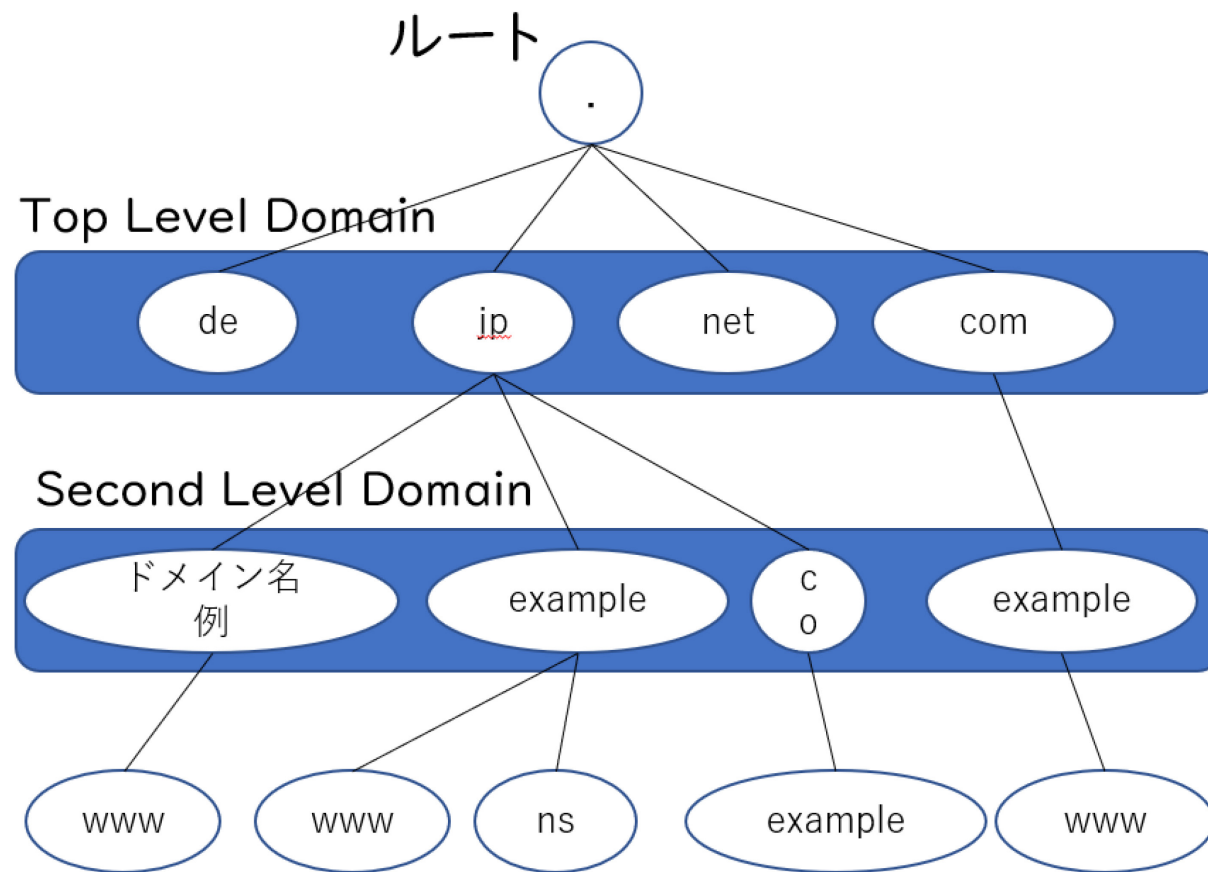
自己紹介

- 長崎県立大学 情報システム学部
 - 情報セキュリティ学科 教授
- 研究テーマ
 - インターネットが壊れないようにする研究
 - 若手とコンピュータネットワークを作って覚えて壊す活動
- 略歴
 - 2000年～ システムを作る会社でネットワークを作りました
 - 2004年～ インターネットの番号を国内に配ってました(JPNIC)
 - 2020年～ 長崎県立大学 教授
- 活動
 - 日本のインターネットを維持するための団体の委員
 - 他にもいろんな部活動
 - 他、学会、社会活動複数



ドメイン名の構造

- ドメイン名
 - ツリー構造
 - ルートを起点とする階層構造
 - ドット(“.”)でつなげる
 - ルートの”.”は省略する
- FQDN : Fully Qualified Domain Name
 - トップレベルドメインまでのすべてを含むドメイン名
- あるドメイン下位にあるドメインを「サブドメイン(Sub Domain)」と言う



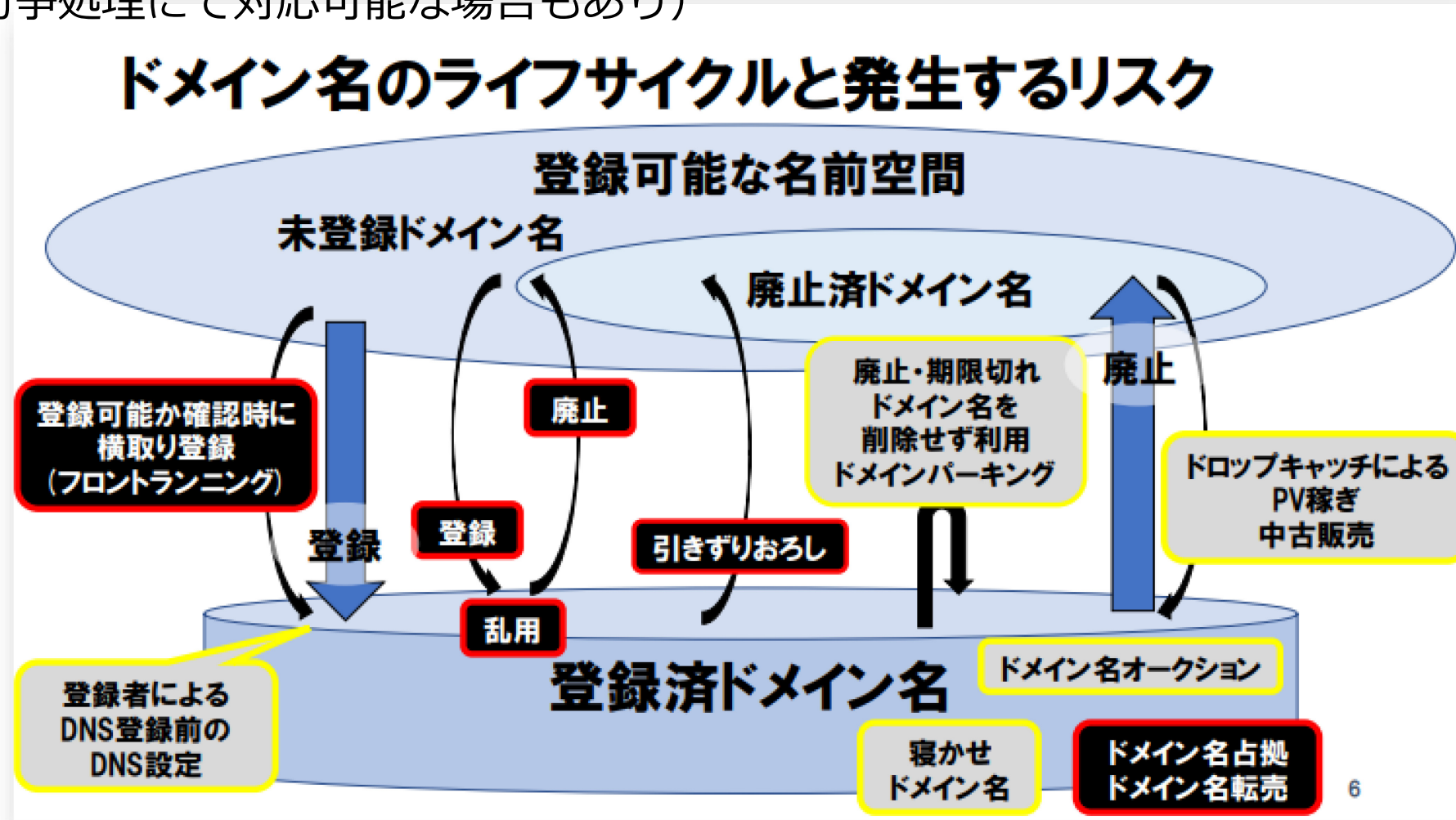
利用者から見たドメイン名

- ドメイン名は「取得」するものではなく「登録」するもの
 - ドメイン名の登録とは
 - 「認められた期間」の該当するドメイン名の「管理権限の委任を受ける」こと
 - 登録の維持には費用の支払いや更新作業が必要
 - ドメイン名は「所有」ではなく「リース」の位置づけ
 - レジストリのデータベースに登録者の情報が保持される
 - 登録者やネームサーバの情報を正しい状態に維持することが重要
 - 現在の登録情報はWHOIS, RDAPで確認可能
 - 個人情報が含まれるので公開されている情報は様々な制限がある

- 啓発：dnsops.jp 10年ほど注意喚起を継続
- しかし
 - テンポラリなドメイン名の登録
 - 登録放棄 → ドロップキャッチ → あわわわわ
 - の事例は継続して発生
- 私たちは今後こういった働きかけをすればよいのか？
 - 現状と（残念ながら）実録から学ぶ

ドメイン名のライフサイクル

ドメイン名は権利を保持し続ける手続きを継続する間は利用可能。何らかの放棄の場合、一定の時間経過後、誰でも再登録を行うことが可能。（商標などの侵害行為がある場合は、裁判外紛争処理にて対応可能な場合もあり）



- 石田慶樹 <https://www.nic.ad.jp/ja/materials/iw/2018/proceedings/d3/d3-ishida.pdf>より引用

なぜ一時的なドメイン名を登録するのか

- 組織やサービスのサブドメイン名を利用するのが一番楽
- あえて、新規のドメイン名を登録する
 - のはなぜ？
- 仮説
 - サブドメイン名を利用するハードル
 - 組織をまたぐ活動のためにやむを得ず？
 - 啓発が逆効果を？
 - “永代供養すればOK”

永代供養は何年まで？



永代供養を選んでも、永久的に遺骨の管理と供養を個別にしてもらえないというわけではありません。個別での遺骨の安置期間には、霊園や寺院などの施設ごとに何年までと期限が設定されています。

安置期間は契約内容によって異なりますが、17回忌や33回忌、50回忌といった仏教的な法要年数を区切りとしている施設が多いです。施設によっては、5年や10年のように短期で契約できる場合もあります。

- <https://www.yasiro.co.jp/eitaikuyo/media/archives/1557> より引用（このページは真宗大谷派の基準）

なぜ？の調査

- 一時的なドメイン名（と思われる）の把握
 - 一時的なドメイン名はどんな文字列だろう
- 一時的なドメイン名登録者の考えを収集
 - どのような意図？
- 意図しないドロップキャッチの防止に活用
 - 注意喚起などに利用できれば

一時的なドメイン名の収集

- 一時的なドメイン名を登録する場面を想定
 - 毎年実施するカンファレンス・イベント
 - 持ち回りで開催する不定期なイベント
 - 複数組織にまたがるサービス・イベント
- 雑ではあるが、
 - 何らかの辞書ワードに“2023”などの西暦を付与した文字列を生成
 - その文字列のSOAを検索

予備実験

	調査数	NXDOMAIN (存在しない よ)	SOA応答あり (登録ある よ)	エラー 不明?
単純な辞書ワー ド.jp	84099	83501	591 (0.07%)	7
辞書ワード 2023.jp 2023辞書ワー ド.jp 辞書ワード23.jp 23辞書ワード.jp	336396	336162	173 (0.0005%)	3

利用した辞書は <http://www.gwicks.net/dictionaries.htm> english84000+を利用。

いくつかのドメイン名へコンタクト

- 手動でメールでコンタクト
- あなたの職種を教えてください
- なぜドメイン名を登録したのですか？
- 組織のサブドメイン名を利用しないのはなぜ？
- 登録抹消後再登録されること知っていますか？

現時点での仮の結論

- 結果 送信数 n=103、回答数=5

回答	あなたの職種は？	考察
サブドメイン名というものを知らない	企画職	啓発不足
組織のドメイン名の管理者との調整が難しい	デザイナー	要検討
新たなサービスでは新規登録するものと考えていた	広告代理店営業	啓発不足
使用後は返却（原文まま）して永続的に使えないので問題ない	Web企画	啓発不足
一時的な利用のつもりはない	技術職	本当？

やはり啓発の対象を広げる必要が？

- g7nagasaki.jp



- 地方自治体はこの、文章に基づいて各県独自の基準を作成
- ただし、解釈は各組織がそれぞれにおこなってる（っぽい）

Web サイト等の整備及び廃止に係るドメイン管理ガイドライン

2018（平成30）年3月30日

各府省情報化統括責任者（CIO）連絡会議決定

〔標準ガイドライン群ID〕

1002

〔キーワード〕

ドメイン取得・集約・移行・廃止・管理組織・管理簿・管理プロセス、政府ドメイン（goドメイン）、非goドメイン

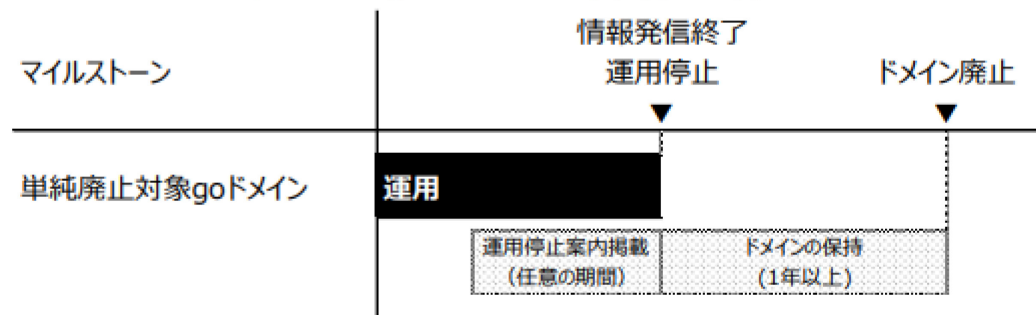
〔概要〕

政府ドメイン（goドメイン）名の登録対象機関におけるドメイン保有状況を把握しつつ、ドメイン管理体系の見直しを行うとともに、ドメイン集約化（移行・廃止）に向けた取組を積極的に行うよう要請するための共通ルール。

2) go ドメインを単純廃止する場合

ドメインを移行せず、単純に廃止するときはあらかじめ、廃止されるドメイン上で運用停止に関する案内をする。当該ドメインの運用停止後も1年以上当該ドメインを保持し、第三者の組織が当該ドメインを早期に取得することによる、国民等利用者の困惑を避けるよう対策を講じた上で、廃止手続を行うものとする。

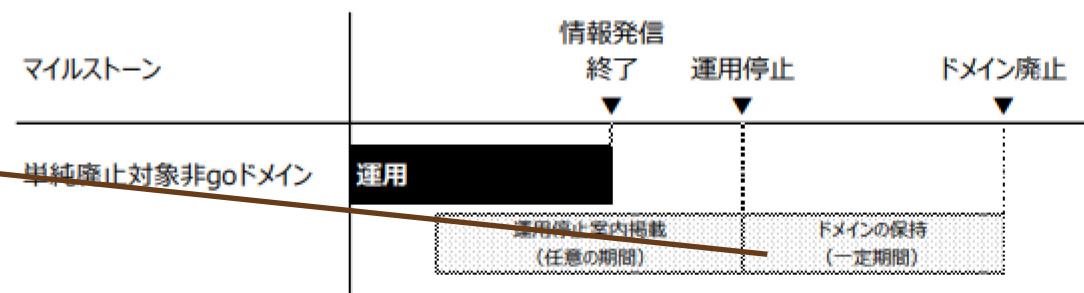
図 2-2 go ドメインの単純廃止の流れ



4) 非 go ドメインを単純廃止する場合

ドメイン単純廃止時はあらかじめ、廃止されるドメイン上で運用停止に関する案内をするものとする。当該ドメインの運用停止後も一定期間当該ドメインを保持し、Web サイトの利用者が検索 Web サイト等を経由して、正規の Web サイトになりすました不正な Web サイトへ誘導されないよう対策を講じた上で、廃止手続を行うものとする。

図 2-4 非 go ドメインを単純廃止の流れ



運用停止後、一定の期間としか書かれていない

(参考) 運用停止に関する案内の提示画面

別紙 附則

1 施行期日

本ガイドラインは、決定の日から施行する。

なお、本ガイドラインの施行をもって、ドメイン管理ガイド（2.0 版）（平成 28 年 12 月 1 日内閣官房情報通信技術（IT）総合戦略室策定）については廃止とする。

2 経過措置

2015 年 6 月 5 日時点で現に存するドメインについては、「2.11）各府省等が運用する go ドメイン」における代表ドメインへの移行に基づき、遅くとも 2020 年度を目途に移行を完了するものとする。

- 一時的なドメイン名を登録する動機
 - サブドメインメインの活用の不知
 - 社内情報システム部門との調整が困難
- 一時的なドメイン名の**永代供養の困難**
 - 大きな組織であれば**専門の部署**があるはず。たどり着くのが大変
 - 小さな組織は**専用サービスの活用**が必要か
- レジストラとエンドユーザの契約により、エンドユーザが期限切後取り戻すことは困難であることの啓発も必要か
 - 政府関連の文書ももう少し改訂がいるかもしれない

ドメイン名のご利用は計画的に

